

やまぐち

YAMAGUCHI

平成18年2月17日
編集・発行 広報やまぐち編集部

山口地域で初の地域防災訓練

「阪神・淡路大震災」の教訓から、いつ起こるかわからない災害に備えて「自分や家族の命は自分で守る」、「自分達の地域は自分達で守る」という共通した認識のもと、平成17年12月4日（日）山口公民館グランドにおいて、地域住民や消防団員ら約300人で、この地域初の地域防災訓練が行われました。当日は、参加者が3班に分かれて「初期消火訓練（消火器・バケツリレー）」「救出訓練」「土のう作り」などを順次体験した。また会場を公民館に移し、毛布や物干し竿を使った簡易担架作りやストッキングやレジ袋などを使っての応急手当の方法も学んだ。



いざという時に備えて



日ごろから実災害を想定した訓練を実施しておくことが、いざという時に有効に動けます。

山口地域
まちづくりニュース

No.60



竹林・雑木林等の整備

昨年7月末に「竹林・雑木林募集」のチラシを八幡町、屋戸町、吉野町、掛下町、大坪町、山口町の各町内に回覧しました。

3件の応募があり、それぞれの応募者との話し合いの結果2件に絞りました。燃料等実費を負担して頂くこともあり、持主さんとの詳細な打合わせをした上で、今年1月から2月にかけて実施した。作業の参加者も20人程あり、丁寧な作業に心がけて取り組みました。終了後、所有者の方に見て頂いたところ、「きれいになった、これで筍生えてくる」とお喜びの感想を頂きました。



整備前



整備後

募 集 !

皆さんのが所有されている竹林や雑木林を整備し、「さっぱりとした里山風景」の手助けをしていこうかと考えてあります。

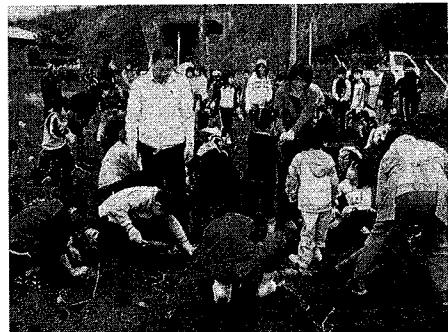
このため、みなさまが所有されている竹林や雑木林の整備をご一考されている方は「やまぐち里山クラブ」の福田までご一報ください。連絡先：83-0908

「おいしかったわ♪」収穫祭

6月6日（日）に大坪町町内にて植え付けたさつまいもの苗が、厳しかった夏の暑さにも負けずに見事に成長して11月3日（祝）に収穫祭を迎えることができました。当日は、まちづくり協議会と幡山東小学校の児童、父兄のみなさん100人程の参加を頂き、実りの秋を楽しみました。

また、芋掘り作業の間に協議会の女性会員で事前に収穫してあったさつまいもで、<芋ういろう>を作ってふるまい、とても子供達に好評でした。掘ったさつまいももその場で焼き芋にして皆でいただきました。「おいしかったね♪」

芋ほりが初めての子供さんも見えて「とても楽しい経験ができました」と喜んで頂けました。



YAMAGUCHI

公民館だより

第90号

平成18年 成人式

総務部長 鈴木 功

晴れて大人の仲間入りをされた新成人80名が、山口公民館に集い、祝いの詞を主催者、来賓からいただきこれから的人生の行動、発言について、責任を感じたことと思います。

伊藤修孝元校長先生の講演、集合写真の記念撮影の後は新成人の企画による楽しいパーティーとなりました。bingo大会も始まり、あっ!!と驚くパフォーマンスも飛び出し大いに盛り上がりました。また、小学校時代の恩師も参加され当時の思い出に話の輪が広がり、皆それぞれに満足されたことと思います。

今回の成人式の企画、運営について我々スタッフの運営の反省点も有りますが今後に向けてよい勉強となりました。



平成17年度 勤労青少年講座「パソコン教室」

教養部長 浅埜幹男

平成17年7月25日～8月24日の12日間にわたり「パソコン教室」を開催いたしました。昨年度は1月中旬から2月中旬まで行っておりましたが、冬期で悪天候の日があり安全上公民館に出向くことが困難という理由で今年度は夏期の開催となりました。

今年度も昨年度に引き続き瀬戸市IT講習講師の宅和慶子先生にお願いして、昼の部11名、夜の部19名の計30名でスタートしました。昨年度よりも若干参加人数が減りましたが、最後まで楽しく学習して頂くことができました。

内容的にはワードを立ち上げる基本操作から文字の入力変換、ファイルの保存、文章の作成など短時間で数多くご指導して頂きました。今回の参加者の中には年配者の方々も数多く受講して頂きましたが、学習するという意欲的な姿勢には大変驚きました。

最後になりますが、今回受講して頂いた方々、講師の先生方、ご協力をして頂いた運営委員の方へ無事終了できたことにお礼を申しあげます。

社会福祉協議会山口地区社協 活動報告

やまぐちの福祉

第29号

瀬戸市社会福祉協議会
山 口 地 区 社 協

若草会と園児のふれあい会

- 平成17年11月25日（金）
- 午前9時30分～
- 幡山東保育園
- 参加者 若草会会員 28名
園児 19名

お年寄りと園児が一緒に伝承遊びを楽しんだり昼食を食べました。

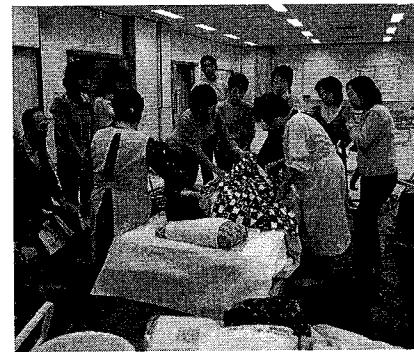


研修会

- 平成17年10月30日（日）
13時30分～15時30分
- 山口公民館
- 参加者 17名

「デイサービス森林公园」から岩崎さんと若杉さんを講師に迎え、講義と実技で勉強しました。

講義のテーマは『転倒予防で寝たきりをなくそう』で、実技の内容は体位交換、着せ替え、車椅子や杖の正しい扱い方等でした。



歳末たすけあい事業

- 《おせち料理の配食》
- ひとり暮らしの高齢者対象
 - 希望者 61名

秋の配食サービス

- 平成17年11月3日（木）
- 希望者 50名

介護用品の支給 後期分

今回は寝たきりの高齢者対象に希望された10名のお宅へお届けしました

共同募金

大口募金（共同募金）にご協力くださりありがとうございました。

今年度の募金額は **185,000円** になりました。



山口 ふれあいタイム のご案内

2回目は昨年の12月10日にクリスマス会をしました。
72名もの参加者で公民館が熱気であふれました。



平成17年度 町内別会員口数

町名	会員口数	町名	会員口数
掛 下	53	八 輛	79
上之山1・2	47	山 口	66
上之山3	28	田 中	23
サンヒル上之山	26	矢 形	14
大 坪	31	柳 坪	39
吉 野	31	大 坂	36
屋 戸	41	今 林	31
若 富	68	池 田	71
北 宝ヶ丘	19	石 田	64
南 宝ヶ丘	18	計	785

ご協力ありがとうございました。昨年度より増えました。

来年度もどうぞよろしくお願い致します。

山口ふれあいタイム 3回目

- 平成18年3月2日（木）
- 午後3時00分～午後4時30分
- 山口公民館 A・B
- 対象者 小学校低学年

まつま～す

幡山学区青少年育成会からのお知らせ

多くの人に夢と感動を与えてくれた万博が終わって4ヶ月あまり。

昨年は、この地方にとって実に楽しい1年でした。しかし、全国的にみれば列車事故や災害、年末には幼女が痛ましい事故に巻き込まれるなど、決して浮かれているときではありません。子どもを取り巻く環境は、育成会発足当時とは大きく変わり、活動の転換を迫られる状況です。

昨年12月には2学期末の総会が開かれ、子どもを取り巻く環境の激変にどのように対処するか議論されました。これまでの活動は青少年の健全育成、即ち非行防止が主眼でしたが、今後は児童の保護育成にも力を注いでいかなくてはならなくなりました。

子ども達が被害に遭わないようにするための指導は、時には諸刃の剣になり、安全と引き換えに大人不信やふれあいの場が失われるなどマイナス面も出てくるでしょう。今後の活動は、学校と家庭・地域が一体となってあらゆる手段で子どもを守ることが急務かと確信します。それには、先ず地域住民全體がふれあい、分かり合える事が必要でしょう。

幡山学区青少年育成会会长 大澤 錠二

山口連区自治会からのお知らせ

「夏・地球博」開幕1周年記念イベント

博覧会開幕1周年を記念し、来る3月25日にイベントが開催されますので是非ご参加を！
モリゾー＆キッコロに会えるよ。

日 時 ▶▶ 3月25日（土）午前10時から午後3時（クリーンキャンペーンは9時から）

場 所 ▶▶ 旧博覧会会場（天水皿ⁿ前広場）

内 容 ▶▶ 「クリーンキャンペーン」～山口川をきれいにしよう！～

「親子で自然を楽しもう」～森の自然観察会～・～森の工作ワークショップ～

「モリゾー＆キッコロと記念撮影」「ミニコンサート」etc…

詳細は後日ご案内いたします。

防犯サポーターのお願い 防犯マップの調査のお願い

1 防犯マップの調査について

（1）調査内容

- ①過去5年間で防犯上問題があった場所
- ②防犯上注意が必要な場所

（2）調査方法

防犯上危険な所をFAX等で教えてください。

2 防犯サポーターの募集について

（1）防犯サポートの内容

- ☆より多くの目で、子どもの様子を見守るために、子どもの下校時間（14:00～16:30）に通学路の様子を見ていただくな。
- ☆道草をしている子を見つけたら、早く帰宅するように一声かけていただく。
- ☆不審に感じられることがあったら、学校や警察に連絡をしていただく。

（2）サポーター要員はどなたでも結構です。

申し込み・連絡等は、幡山東小学校

TEL 82-4404 FAX 82-3843

教頭まで。

山口子育て支援センター

からのお知らせ



編集後記

最近、不便を感じています。私の近くのバス路線や、ガソリンスタンドが姿をけし、ちょっとした買い物をするにも、お店が遠くなってしましました。少し遠方に出かけるにも、車の運転ができなくなったら愛環しかないのですが、あの階段を思うと考えてしまします。何とか山口地区がお年寄りや子ども達にやさしく、安心して暮らせるまちであることを願います。

広報やまぐち編集部 鈴木茂子